



SEIKAEN NEWS

法人内職員の資格取得者、各種被表彰者をお知らせします

資格取得

介護支援専門員

秋山 美里
阿部 直樹

精神保健福祉士

野間口 玄
船曳 来未

社会福祉士

前橋 美優
掛川 紗里
佐々木 亜彩
島袋 マキ
野間口 玄
橋本 彩由
船曳 来未

介護福祉士

大本 純
岡本 浩弥
小林 紗弥
佐々木 亜彩
中村 柚月
三好 佑果
村角 京華
山口 領太
吉田 圭佑

研修表彰

研修発表表彰

鎌田 紘輔
平田 麻澄
藤原 亮太

法人発展貢献表彰

地域貢献表彰

小林 紗弥
直原 拓也

アイデア賞表彰

片岡 佐智代
酒井 涉
佐藤 まどか
令和3年度新入職員

永年勤続表彰

勤続20年表彰

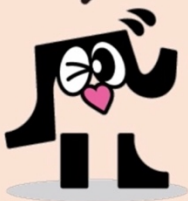
小嶋 徳幸
小林 博子
長田 訓子
藤谷 典子
西田 智子
山下 笑子

勤続17年半表彰

渡辺やよ江

勤続10年表彰

上岡 史奈
茨木 真希
鎌田 美咲
佐藤 啓美
酒井 涉
藤原 亮太
松浦 裕一



ゴスケ



2023/4/1 令和5年度は13名の新入職員が仲間入りしました！

コロナ5類移行

過去を乗り越え、明日へ繋ぐ

社会福祉法人 三幸福社会
理事長 池田ひとみ



はな華
HanaHana
vol.11

あじさいの花が鮮やかな季節、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。皆様の日々の三幸福社会に対するご協力に心から感謝いたします。

日本では2020年の春から3年余りの日々、新型コロナウイルス感染症に翻弄され、当苑でもクラスターになる事業所がありました。その間、皆様に多大なご心配をおかけし本当に申し訳ございませんでした。ただ、感染されたご利用者の体調を報告する際などにご家族の皆様は不安な中にもかかわらず、私たちに心からの温かい言葉をかけてくださいました。その言葉が感染症に立ち向かう私たちにどれほど勇気を与えてくれたことでしょうか。そのことを私たちは決して忘れません。本当にありがとうございました。

日本で感染が始まった当初は全国が隔離状態で、面会禁止等は当然のこととされていましたが、時間がたつにつれ徐々に普通の生活に戻れる人々がいる一方、高齢者施設は取り残されたように「面会禁止」「徹底した感染対策」が求められました。当苑ではご家族とご利用者のつながりを保てるようにオンライン面会なども取り入れましたが、やはり直に手を取り合っている面会に勝るものはないと、忸怩たる思いもありました。この間、ご家族も清華苑にウイルスを持ち込まないように、と寂しい思いをこらえて本当に良く協力してくださいました。

先日より面会が解禁となり、ご利用者とご家族の笑顔を見る度、これが普通の世の中なのだと思わずに深く思います。ただ、まだマスク着用など面会のご家族にはご不便をおかけすることになりますが、ご理解のほどをお願いいたします。ウイルスはこの世から無くなつたわけではありません。また違う状態で現れてくるかもしれません。ただ、この3年が無駄ではなく、戦い方を学んだ日々であったと確信しております。今後も気を引き締め、安心安全の清華苑を確立するため立ち向かってまいります。

これからもどうぞよろしくお願ひいたします。



コロナ禍の広報活動

ポスター作戦で感染予防

広報統括部長 村上卓也

コロナ禍が本格化し始めた頃、介護現場ではご利用者の命を守る為、職員に対して職場のみならずプライベートでの過ごし方においても感染対策の徹底が求められました。

法人の感染症対策会議で各職員が遵守すべき事を通達文書として配布し、同内容をポスターにして各事業所に掲示する事が決まりました。

感染予防を目的とした啓発ポスターでは、伝えて終わりではなく、見た人の意識を高め、行動に移す事が求められます。感染対策を呼びかけるにあたり、人の心を動かすデザインとは何かを考えました。

試行錯誤の末、思いついたのはポスターのモデルに職員を起用すること。普段一緒に働いている身近な職員がモデルになる事で一層の関心を寄せてもらう事を狙いました。モデルになって頂いた職員の方々は嫌な顔ひとつせず快諾して頂き、ポスターを制作する職員、掲示を担当する職員、多くの方々の協力を得て、この3年間でたくさんの方々のポスターを制作する事ができました。本当にありがとうございます。その効果を測定する事は難しいですが、法人広報として、感染防止対策の一端を担う事が出来たのではないかと感じています。

今後、各事業所で中止していたイベントやボランティアの受け入れが再開されます。ご家族との面会などまた賑わいある施設の日常が戻ります。

これからもご利用者、ご家族、職員、地域に向けて、三幸福社からささ溢れる情報発信を行っていきたいと思います。どうぞご期待ください。



NO CHANGE

新型コロナウイルス感染の規制が緩和されても、私たちの心構えには変わりはない。

ウイルスは、この世から無くなったわけではない。また違う状態で現れてくるかもしれない。ただ、この3年が無駄ではなく、戦い方を学んだ日々であったと確信している。その時には、また気を引き締め、立ち向かっていこう。ご利用者のために、安心安全の清華苑を確立しよう。



今こそ信頼に応えよう

COVID-19 対策 清華苑



家族だから安心。そんな保証は全くない。

家庭内感染では10日以内に発症が95%

緊急事態宣言発令



換気しよう

COVID-19 対策



私達は、みんなの命を守る
エッセンシャルワーカーだ。
I'm an Essential Worker



同居家族や接触者に
発熱や異変があれば
すぐに職場に報告を！

家族と職場を守る行動を！
NO 躊躇
SOKU 報告



アフターコロナ

笑顔で対面！ 念願のイベントが復活！

リハビリ部長 溝部あや



華の宴

☆お花見散歩☆

コロナ禍において高齢者施設で働く私たちは、自身と家族の健康を守ると同時にご利用者の健康と生活、尊厳をいかに守り守らばいいか、苦悩の3年間を過ごしました。

国の指示を遵守する中、ご利用者にとって一番の苦痛はご家族との面会が出来なかったことです。ご家族に会えない悲しみや不安、絶望を間近に見て寄り添うことしかできない職員は無力さを突き付けられました。

コロナ禍に経験した寂しさを埋めていただくと同時に職員の想いも伝えたい想いで、行事委員会を中心に「お花見散歩」の企画を進めました。前日になってもアイデアは次々と広がり、設営や当日の動きを直前で変更するなど養力センター職員が一丸となりました。

お花見散歩当日はみなさんの笑顔、再会の涙、抱きしめ合う場面に胸が熱くなりました。これからも三者の幸せを願う法人理念をしっかりと掲げ、ご利用者ご家族に寄り添った取り組みを続けていきます。

